

「市立病院を考える市民集会」(7月12日開催)の結果報告について

1. 開催日時

日時：平成27年7月12日(日) 14時00分～16時15分(15分間延長)

場所：野洲文化小劇場

2. 参加者

参加者 約350名、報道機関 5社

3. 開催趣旨

市立病院整備に係る基本設計予算案の市議会否決を受けて、市民の率直な意見を聞き、今後の方策を見定める。

4. 開催結果に対する評価

今回の市民集会における参加者からの意見やアンケート結果を踏まえ、市民のみなさんが市立病院の整備を強く望んでおられることを確認した。従って、引き続き、これまでの検討や意思決定の積上げを重視し、一日も早く市立病院計画の実現を図っていくことが必要と考えた。

5. 参加者との主な意見交換・議論

(1) 意見交換等の概要

17名の一般市民が発言されたが、中核病院が必要だとする意見は大半の人が述べられた。一方で、「大型商業施設を誘致してほしい」「高齢社会や障がい者の利便から駅前是有難い」など、立地場所については多様な意見が述べられた。これについて市長からは、駅前は市民にとって便利であるとともに医師の確保やひいては経営に有利なこと、駅前で整備することは今日までの丁寧な議論による市民合意と議会審議を経た決定事項であること、大型商業施設の立地については、旧町の政策が支障となって今さら駅前に誘導できないことなどを説明した。

- ①市民：市内に総合的な中核病院が必要だということはよく理解した。ただ、民間でダメだったのに、市が経営すれば健全化を果たせるという根拠がもう少し必要では。
→民間病院ではあったが、経営に首長や議員など公的な立場の人が関与し過ぎて親方日の丸の病院経営になり、平成23年の(野洲病院が提案を出された時点の)状態に至っている。だから民間病院だったのにダメだったとかそういう話ではない。
- ②市民：新しい医療機器を次々と入れていかなければいけないが予算がいけるか。時代にマッチしたものを入れないと赤字になる。
→毎年機器の更新で9,000万円ぐらいの費用を充てるシミュレーションとなっている。
- ③市民：官僚的な経営はやらないでほしい。
→経営については官僚的にならないように、市民主体の病院運営をやる。無駄を省いて市民の立場に立ったサービスを提供していきたい。
- ④市民：計画地は、色んな人が立ち退き、先人が苦勞してようやくできた場所。病院計画など簡単な発想は許さない。病院そのものはいい。他のいい場所考えて整備したらよいのではないか。
→今回の約1ヘクタールは、みなさんの意見を確認して、市議会全員の賛成を経て買った。その際の市民のための土地という議論とその後の議論からもここに病院を造ろうということは、了解済の事実であると思っている。

- ⑤市民：病院は非常に大事だから必要だ。12億のお金で土地を買われたので、当然市民全体に還元される施設を造ってほしい。ただ、駅前に大きな病院が建っているのは市民として寂しい。銅鐸博物館の辺りがいいと思う。
- 吹田市も駅前に市民病院を移すなど全国にもそういう事例はある。駅前は一番人が集まりやすい場所で、医師確保などの点で合理性が高いことは専門家も明言している。政策決定で詰めて基本計画まで出来ているので、余程の理由がない限り、この市有地を病院用地に充てようという計画。
- ⑥市民：この土地を買うときに我々が市長に託したことは、子どもや孫の代の財産として使ってくださいということだった。否決という議会の対応はどういう考えか。市民は常識をわきまえ経済にも精通していることを議員は忘れないでほしい。
- ⑦市民：市立病院になったあとも精神科医療との連携のことを考慮に入れていただきたい。また駅前のメリットもあるかもしれないが、車で来院しやすいという点で郊外も意味のあること。
- 精神科病院との連携についてのご意見に感謝する。立地場所については、ご提案の郊外だと市外の他の病院とどう違うのかといった話になる。これまで駅前で議論を積み上げており、余程のことがない限りこの方針は変わらない。
- ⑧市民：駅前には、大型の商業施設を造ってほしい。
- この用地を買収する際、市民は大規模小売店にしてくれではなく市民のためになる施設を造るよう求められた。また、過去に大規模店が立地しようとしたとき町は別の場所で進めている。現の市の大規模小売店用途の都市計画は、今市三宅・四ツ家ですでに動いている。今さら駅前では矛盾が生じる。
- ⑨市民：我々視覚障がい者は車の運転ができない。車の運転ができない高齢者も増える中、ほとんど車だろうという発想自体がどうか。公共交通機関が充実して駅前にできることは非常に有難い。
- ⑩市民：駅に近いことは望ましい。ただ、少し離れた場所でも良いのではないか。ここ以外の候補地はなかったのか。
- 駅の近くで病院整備のためにゼロから民間の土地を買いに行くというのはリスクが高い。野洲病院の提案の前にこの用地が幸いに得られたのでここしかないと決定している。
- ⑪野洲病院：市民の医療をしっかりと守るという観点で御上会は解散の決断をした。耐震化だけしたらいいとの議会での議論に非常に憤慨している。
- ⑫市民：固定資産税の引上げについて、今のタイミングはどうか。
- 市議会がさ迷われたから、野洲市の財政課題はこういうことですよというメッセージとともに一案として提示したもので、上げる提案はしていない。
- ⑬市民：地方自治で一番大事なことは、市民の生命、財産を守ること、福祉、教育に力を入れてやっていくということ。生命を守らずして何が市会議員なのか。
- ⑭野洲病院：野洲病院はオーナーがいない状況。継続していくということは困難。地域のために、この規模で、高齢者も入院して在宅に帰れるような医療機関を創っていきたい。
- ⑮市民：賛成。やはり人の命は重要だ。何とか市民の声が反映できるようにしていただきたい。
- ⑯市民：市民の声を受けながら、色んな意見が詰まった対案を考えながら進めていって欲しい。
- 〔※さらに詳しくは、別添Ⅰ（要録）のとおり〕なお、別添Ⅰ（要録）中の「市民1」の番号と、上記の「①市民」の番号は整合を図っていない。

(2) アンケートの内容

回収枚数…68枚 〔※別添Ⅱ（集計結果）のとおり〕